

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年12月2日（木）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアAA
- ・J2、J3雨水回収タンク

3 確認項目

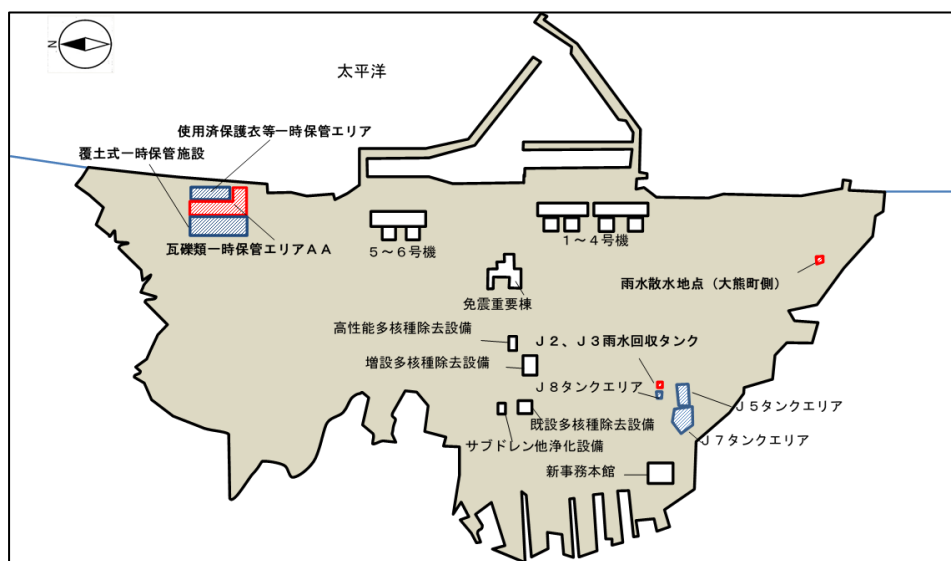
- (1) 瓦礫類一時保管エリアAAの状況確認
- (2) J3雨水回収タンクにおける分析前雨水の計画外散水の状況確認

4 確認結果の概要

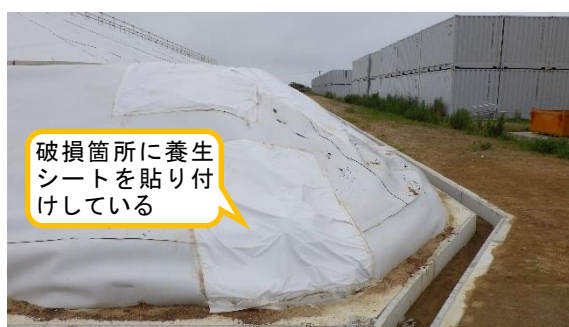
(1) 瓦礫類一時保管エリアAAの状況確認

令和3年2月13日の福島県沖を震源とする地震により瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）AAのコンテナに転倒及び傾きが発生し、隣接する覆土式一時保管施設Lの遮水シート等が破損した事案について復旧作業等が実施されていることから、前回（[令和3年10月18日](#)）に引き続き状況を確認した。（図1）

- ・コンテナの転倒により破損した覆土式一時保管施設Lの遮水シートは新たなシートに張り替えられており、同施設周辺の側溝の破損箇所は、修復されていた。（写真1）
- ・コンテナは、引き続き一時保管エリアAA及び隣接する使用済保護衣等一時保管エリアに1～2段積みで保管されており、積み直しや移動した形跡は見られなかった。転倒したコンテナは回収され、単管パイプのバリケードで立入禁止措置が講じられた上でエリア入り口付近に置かれていた。（写真2）
- ・東京電力では、コンテナを積み直しして再保管するとしており、その方法や計画については、現在検討中とのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
覆土式一時保管施設Lの状況
(令和3年7月13日撮影)
(南側から撮影)



(写真1-2)
同左
(令和3年12月2日撮影)



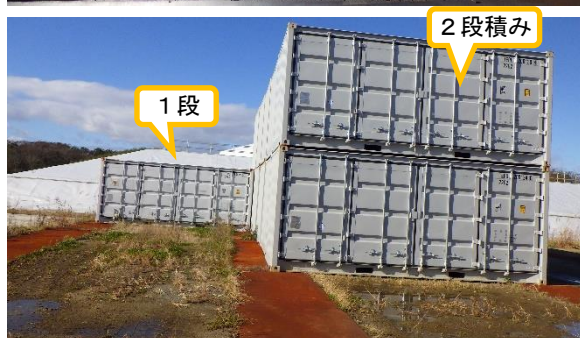
(写真1-3)
施設南東側の側溝の状況
(令和3年7月13日撮影)
(南東側から撮影)



(写真1-4)
同左
(令和3年12月2日撮影)



(写真 2-1)
エリア北側の状況
(北側から撮影)



(写真 2-2)
エリア南側の状況
(東側から撮影)



(写真 2-3)
エリア入口付近に保管されている転倒したコンテナ
(西側から撮影)

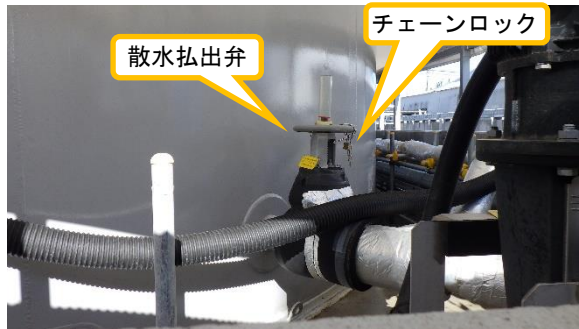
(2) J 3 雨水回収タンクにおける分析前雨水の計画外散水の状況確認

福島第一原子力発電所では、タンクエリアの堰内に溜まった雨水は、雨水回収タンクに回収して分析し、散水基準を満たされていることが確認されたものを構内にて散水している。

11月29日の午前10時40分頃、J 2 雨水回収タンクの水を散水すべきところ、分析前の J 3 雨水回収タンクの水を散水したことから、その状況を確認した。J 3 雨水回収タンクでは現在、J 4、J 7 タンクエリアの堰内雨水を受け入れており、今回散水した分析前の雨水は約 37.5 m³とされている。

- ・ J 3 雨水回収タンクの散水払出弁は「全閉」となっており、散水はされていなかった。払出弁には、誤操作防止用のチェーンロックが取り付けられており、確認した範囲で水漏れ等の異常は見られなかった。(写真 3)

- ・雨水散水地点では水溜まり等は見られず、敷き詰められた碎石は乾燥していた。（写真4）
- ・東京電力では、分析前の雨水を誤って散水した原因について、調査をしており、速やかに原因を究明し、対策を講じていくとしている。



（写真3-1）
散水払出弁の状況
（西側から撮影）



（写真3-2）
J3雨水回収タンクの外観
（西側から撮影）



（写真4）
雨水散水地点の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。